

脳情報通信融合研究センター (CiNet) の概要

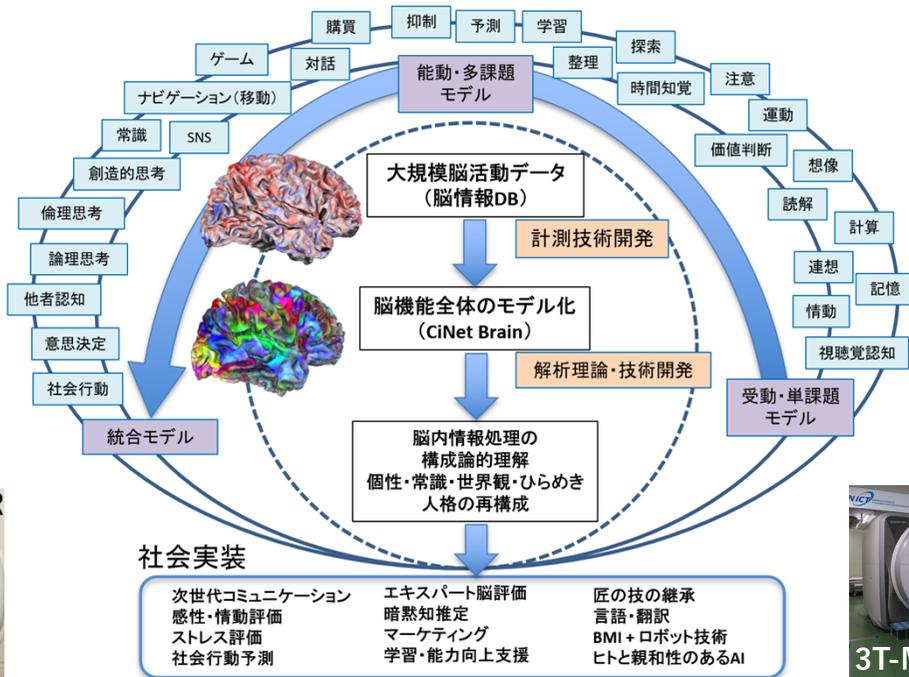
CiNet: Center for Information and Neural Networks



概要

究極のコミュニケーションや人間の潜在能力の発揮を実現する
新しいICTの創出を目指し、脳活動を多角的に計測・モデル化し、
支援する技術などの脳情報通信技術の研究開発を実施しています。

人工脳(全脳のモデル化): 多種多様な入力情報を脳がどのように理解し、感じ、
どのように判断し行動するかを再現できるモデル(人工脳)を構築しています。



特徴

- 世界レベルの脳情報融合研究を実施
- 多角的な脳機能計測・解析基盤技術
- 産学官連携による社会実装への橋渡し

ユースケース

- 脳情報による商品・サービス評価
- 脳情報によるロボット制御 (BMI)
- 脳情報による緊張緩和・運動機能支援

今後の展開

- 脳情報による学習等支援
- BMIの低侵襲化、非侵襲化
- マルチモーダル脳計測データの共有によるオープンイノベーション

関連リンク

- 脳情報通信融合研究センター (CiNet) 「大学生のためのCiNet研究ワークショップ」や「CiNetシンポジウム」等のイベント情報はこちらです。
- CiNet研究紹介動画